

ふるさとジュニアサポーター

～青少年の地域活動を促し、自己有用感を高め、ふるさと愛を育む～

下呂市 市長公室 市民活動推進課

1 はじめに

子どもたちが地域で活動することで、コミュニケーション能力などの社会性が向上したり、ふるさと愛が深まったりする効果がある。本市も教育大綱で「青少年の地域社会への参加促進」を掲げている。「次代を担う青少年の健全な育成」を目的に、青少年（主に中学生）が様々な地域イベントや活動にボランティア参加する「ふるさとジュニアサポーター」事業をH29から開始した。



花火ミュージカルの会場でサンタになっておもてなし
※もちろん着ぐるみの中も中学生！

2 実践・取り組み

(1) ねらいは「社会性」の育成、「自己有用感」の高まり、「ふるさと愛」の育み

① 「社会性」の育成

中学生は、地域イベントの参加者や主催者、イベントスタッフなど、多くの人とのかかわりを通してコミュニケーションの機会を得る。また、様々な人とのやり取りは、必ずしも自分の思い描いた通りには進まない時もあるが、そこで臨機応変な対応力や実践力が身につく。



減塩イベントで減塩お菓子を紹介

② 「自己有用感」の高まり



ミニSLコーナーで切符切り&おもてなし

参加した中学生は、一生懸命活動するので、その姿は多くの方に好感を持っていただける。イベント参加者からは「中学生なのに偉いわね。」、スタッフからは「本当に良くがんばるね、おかげで助かるよ。」と、一日中ほめ言葉のシャワーを浴びる。さらに後日、学校の先生からも「ボランティア活動がんばったそうだな。」と。人の役に立ち、認められる経験は自己有用感を高め、生きる原動力そのものとなる。

③ 「ふるさと愛」の育み

中学生は、地域のイベントに参加し、地域の方とふれ合ったり、地域の大人たちが生き生きと活動している姿を見たりして、「ふるさと下呂」のすばらしさを再確認・再発見する。地域での成功体験も合わせ、「ふるさと愛」の深まりへとつながる。



地域の方に檣の土台の組み方を教わる

(2) 市社会教育主事がコーディネート

教職員から割愛した市社会教育主事が活動をコーディネート。教職経験を生かし、学校や中学生の実情を考慮した上で、地域の願いや思いを取り入れた地域活動を仕組んだ。ねらいを達成させるためのポイントは、「活躍の場」と「ほめる場」の設定。各地域の社会福祉協議会、観光協会、商工会、企業などとの連携も進んでいる。

(3) 実践例

これまでに、80以上のイベント等で実施。中学生の参加者は延べ700人以上、市内すべての中学校（6校）から参加。

①地域イベントでの活動例

マラソン大会で受付や給水の係、各地域のふるさと祭りやマルシェで販売ブースやちびっ子コーナーなどを担当した。

②観光イベントでの活動例

「JRさわやかウォーキング」参加者にパンフレットの配布、冬の花火大会で観光客と記念撮影。観光地下呂ならではの活動も多く行った。

③福祉分野での例

夏休みに児童館で児童と一緒に遊んだり、イベントのお手伝いをしたりした。身体障害者体育大会で司会や道具係、接待係などを務めた。



ミニ動物園で幼児をおもてなし



身体障害者体育大会の競技を運営

3 まとめ

(1) ねらいはバッチリ！

活動後のアンケートの中に、「最初は緊張してできなかったけど、地域の方にほめてもらえ、うれしくて自信がついた。次回も参加したい。」「地域を盛り上げることに自分も貢献できて良かった。」など、自ら成長やふるさとへの愛着を実感する言葉多数。

(2) 中学生と地域の意識の高まり！

- ・地域ボランティア活動が中学校の生徒会活動に位置づき（4校）、生徒がより積極的に参加するようになった。
- ・生徒たちがやってみたいことを地域に提案し、活動を実現させた。（列車内でのPR活動、ふるさと祭りでの出店など）
- ・地域からも「中学生の活躍の場を設定する協力をしたい」という声が出てきて、多くの活動が実現した。



ふるさと祭りでの綿菓子屋を出店

(3) ジュニアリーダー活動も活発化！

ねらいが大きく重なるジュニアリーダーの活動も同様に展開し、活動が活発化。子ども会での活動はもちろん、地域での活動も増えている。ボランティア活動に参加した生徒がジュニアリーダーに加入するなど、減少傾向にあったメンバー数も2年間で倍増している。（H29年度30人⇒R1年度70人）



マラソン大会の司会をする Jr.リーダー

(4) 今後はコミュニティ・スクール、地域学校協働活動に移行中！

下呂市で進められている小中学校のコミュニティ・スクール化や、地域学校協働活動と本事業を連動させ、生徒や地域の主体性がより高まる形で、徐々に事業を移行している。



JR列車の中での観光PR&おもてなし活動を終え、乗客、乗務員、地域の方（芸者さん）と一緒に記念撮影をする中学生（芸者さん左の3人）